

第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）

障害馬術競技 代表人馬選考基準

大会期日：2020年7月24日～8月9日

公益財団法人日本オリンピック委員会（以下「JOC」という）へ推薦する代表人馬は、評価委員による審査をもとに編成方針に従って監督が選考し、オリンピック対策会議で審議を経て、理事会の承認をもって決定する。代表人馬の発表は2020年6月中旬を予定。

目標は団体メダル獲得とする。

1. 編成方針

2020年のオリンピック競技大会障害馬術競技において無過失で完走することが期待でき、実施スケジュールに耐え得るスタミナと屈強な体力を持ち合わせた人馬をもってチームを編成する。

2. 選考の対象

- ・2020年1月10日までに所定の書式により JEF 宛にオリンピック競技大会への出場希望を表明した選手
- ・2020年6月1日時点で、オリンピック競技大会の出場最低基準（MES）を満たし、ナショナルチームメンバーとして認定されている人馬
- ・2020年1月10日時点で JEF 登録があり、2020年1月15日までに FEI パスポート上の所有者国籍が日本となっている馬匹

3. 選考の方法と基準

(1) 2019年4月1日から2020年6月14日の期間に海外で開催される CSI3*以上の競技会および強化合宿における競技成績、パフォーマンス、馬の健康状態、選手の健康状態、チームスピリットや振る舞いなどを総合的に評価する。

評価における着目点は以下の通りだが、これに限定するものではない。

- ・160cm クラスの競技において、障害間の歩数、スピード、踏み切り位置などを自在にコントロールし、安定したコース走行ができているか
- ・特定のタイプの障害物に対して拒否反応を示していないか

(2) 評価委員

- ・監督
- ・ジェネラルマネージャー
- ・シニアマネージャー

(3) 選考期日

JOC への推薦締切日（6月中旬予定）あるいは輸出検疫準備締め切りのいずれか早い期日に代表3人馬、リザーブ1人馬および補欠1人馬を選考する。

(4) その他

2020年6月1日時点でMESを満たす人馬が3組に満たない場合は、個人戦のみに参加することになる。この場合、MESを満たす人馬が2組あっても、個人枠は1枠となるため、本選考基準に則り、最も成績の良い1人馬を代表とする。

4. 監督の権限

- ・選考基準に基づく代表3人馬およびリザーブ1人馬の選考、およびオリンピック対策会議への推薦
- ・必要に応じた予備馬の選考
- ・代表人馬とリザーブ/補欠人馬との入れ替え
- ・JEFが指名する獣医師による、代表候補馬の健康確認のための検査の実施（随時）

5. 申込み

(1) **2020年1月10日（金）**までに参加意思表示を行うこと。

同時に候補者台帳および必要書類の提出が必要（詳細別途通知）

※特殊な事情により例外を認める場合がある。その場合はオリンピック対策会議の承認を得ることとする。

(2) 所定の書式に必要事項を記載し、提出すること。なお、書式は当連盟 Web サイトからダウンロードすること。

送付先： 〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 6F
公益社団法人 日本馬術連盟 障害馬術担当
FAX：03-3297-5617

6. その他

- (1) 参加意思表示を提出した選手が、強化活動を中断あるいは停止することとなった場合、すみやかに障害馬術本部に提出すること。
- (2) 代表人馬に選考されても、監督が選手あるいは馬匹の健康状態に不安があると判断した場合、リザーブ/補欠人馬との入れ替えを行う。
- (3) 「JEF ナショナルチームの行動方針」「JEF 倫理規程」および JOC の諸規程に反する行為があった場合は、選考の対象から外しチームメンバーの認定を取り消す。
- (4) 代表/リザーブ選手の予備馬は、日本への輸出検疫所に入厩させることができる。ただし入れ替えを行わなかった場合、日本には輸送しない。
- (5) 補欠人馬の有効期限は最終エントリーあるいは輸出検疫に入るいずれかの早い期日までとする。
- (6) 本選考基準に記載のない不測の事態が起きた場合は、監督が判断し、必要に応じてオリンピック対策会議および理事会の承認を得る。